

=====

◆ ことばの本棚 (4) ◆

◇ 李基文『韓国語の歴史』(村山七郎監修・藤本幸夫訳、大修館書店) ◇

-----

ことば村理事の小林昭美氏の寄稿です。今回は、平昌オリンピックが開かれている韓国の言語「韓国語」についてです。

-----

韓国語はアルタイ系の言語であり、その文法構造は日本語に一番近いといわれている。

しかし、学者が100年以上にわたって、アルタイ諸語、韓国語、日本語の関係を研究してきているにもかかわらず、いまだにその関係は解明されていない。李基文は「多くの言語が何の痕跡も残さずに消滅した。この大きな溝は主として扶余系言語が消滅したことによって生じたものと考えられる。扶余系諸語は一方ではアルタイ諸語、特にツングース諸語に近く、他方では韓系諸語に明らかになる。」としている。

現在では韓国語はハングルで表記されている。しかし、ハングルが朝鮮半島で用いられるようになったのは15世紀、李朝の時代からであり、それまでは漢字だけで韓国語を表記していた。日本でも記紀万葉の時代には漢字だけを使って日本語を表記していたから、韓国と同じである。言語は違うが文字は漢字であり、漢字文化圏を形成していた。韓国語の表記法には誓記体(韓国語の語順で漢字を並べたもの)、吏読(韓国語の助詞を音または訓で付け加えたもの)、郷歌(実質的意味をもつ語は訓読表記、助詞などは音表記)などがある。

郷歌(ヒアंगा)の例として「処容歌」についてみると次のような歌が『三国遺事』に伝えられている。

東京明期月良 夜入伊遊行如可 入良沙寝矣見昆 脚鳥伊四是良羅  
二朧隱吾下於叱古 二朧隱誰支下焉古 本矣吾下是如馬於隱  
奪叱良乙如何為理古

郷歌の解説は植民地時代から京城帝国大学の小倉進平などによって進められてきたが、現在では梁柱東の『古歌研究』などによって集大成されている。

- 「東京」とは新羅時代の慶州のことであり、韓国語では seoul と訓読する。
- 「明期」は parkan と読み、park は韓国語で「明るい」という意味である。「期」は音借で韓国語の活用語尾をあらわす。
- 「月良」は tarai と読み、tal は韓国語で「月」という意味である。「良」は音借で韓国語の助詞「に」をあらわす。
- 「夜」は訓読で pam である。
- 「入伊」は teul i と読み、teul は「入る」という意味である。「伊」は音借で用言について副詞形にする。
- 「遊行」は訓読で no ni と読む。「遊」は訓で nol、「行」も訓で ni l である。合成して no ni と読む。
- 「如可」は「如」が訓借で ta、「可」は音借で ka と読む。

意味は「慶州の 明るい 月に 夜のふけるまで 遊びあるいて  
わが家に入って 自分の 臥席を 見ると 脚が 四つだわい ああ  
二つは わがものであるが 二つは だれのものか」となる。

郷歌の漢字には漢字の意味を訓読と音読があり、万葉集の漢字の使い方に似ている。

例えば万葉集のなかでも屈指の秀歌とされる天智天皇の歌は次のように表記され、音訓を使って読み下されている。

[日本語原文]

渡津海乃 豊旗雲爾 伊理比紗之 今夜乃月夜 清明己曾（万 15）

[日本語読みくだし]

渡津海の 豊旗雲に 入日さし 今夜の月夜 清明けくこそ

この歌には実は韓国語（朝鮮語）と同源のことばがかなり使われている。金思燁の『韓譯萬葉集』（成甲書房）によってみると次のようになる。

[朝鮮語訳]

大(han) 海(pa da) 横(ka ro) gil ge ppeol chin 雲(ku reum) e ji neun  
太陽(hae) 光(pit) in 今日(o neul) 晩(pam) 月(tal) eun 明(palk) ge  
照(pi chwo) ju oet eu myeon

- 「わたつみの」は海にかかる枕詞であるが「わた」は朝鮮語の海(pada)と同源である。「わたつみの」は朝鮮語の海(pada)と日本語の海(うみ)を併記したものである。
- 「とよはたぐも」「とよはたぐも」は「豊かな旗のような雲」と解するのが一般的であるが、少し無理がある。「はた」はやはり朝鮮語の海(pada)で、「豊かな海雲」であろう。
- 「雲」 日本語の雲「くも」は朝鮮語の雲(ku reum)と同源である。日本語の雲「くも」も朝鮮語のku reumもさらに遡れば古代中国語の雲[hiuən]にたどりつく。
- 「入る」 古代中国語の「入」は入[njiap]である。朝鮮漢字音では中国語の日母[nj-]は規則的に脱落して入(ip)となる。日本語の入「いる」は朝鮮漢字音の入(ip)と同源である可能性がある。
- 「入日」 日本語の日「ひ」は朝鮮語の太陽(hae)と同源である。

李基文は「韓国語と日本語はその構造上の顕著な一致にもかかわらず、語彙および文法要素の一致は非常に貧弱である、とされてきた。」という。しかし、漢字を介して韓国語と日本語を比較してみると、共通の語彙が多くみられることが明らかになってくる。

[朝鮮語のなかの同源語]

汽車(kicha)、自動車(ja dong cha)、自転車(ja jeon go)、地下鉄(ji ha cheol)、飛行機(pi haeng gi)、時計(si ge)、時刻(si gak)、時間(sig gan)、朝(a chim)、日(hae)、晩(pam)、眼鏡(an gyeong)、万年筆(man nyeon ppil)、広場(kwang jang)、公園(kong weon)、医者(ui sa)、牧師(mok sa)、先生(seon saeng)、学生(hak saeng)、ありがとう(kam sa<感謝>ham ni da)

朝鮮漢字音と日本漢字音とは中国語原音からの転移の仕方が違うので注意していないと見逃してしまう。韓国語と日本語は、構造上の顕著な一致のみならず、中国語からの借用語など共通の語彙も多い。

(小林昭美)

★ 小林理事のウェブサイト「日本語千夜一話」↓

<http://ocra.sakura.ne.jp/>